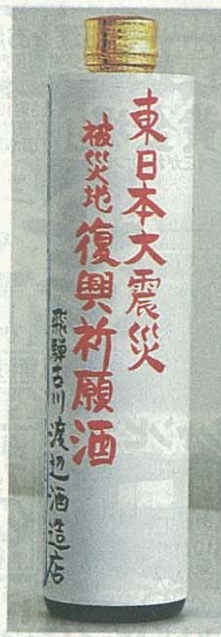


「復興祈願酒」を販売 売り上げは全額寄付

飛驒市の渡辺酒造

飛驒市古川町の渡辺酒造店が、「東日本大震災 被災地復興祈願酒」の写真を発売した。吟醸酒で、1本(300ミリットル)が千円。千本を販売予定で、売り上げの全額を義援金に充てる。原料価格や酒税は同店が負担する。

同店には、10月から翌年4月まで酒造りに携わる「蔵人」が12人いる。このうち8人が、岩手県出身だという。蔵人らの自宅は津波の被害を免れたが、安否が分からない親族も少なくないという。



渡辺久憲専務は「被災地で一人でも多くの人に笑顔が戻ってほしい。そのために、今できることを考えた」と話す。問い合わせは同店(0577・73・3311)へ。

大垣共立銀行
義援金 8472万円

日赤通じ寄贈

大垣共立銀行は24日、同行が15〜23日に受け付けた東日

大垣日大 きょ

第83回選抜 高校野球

主催/日本高野連 毎日新聞社
後援/朝日新聞社
特別協力/阪神甲子園球場

第83回選抜高校野球大会(日本高野連、毎日新聞社主催、朝日新聞社後援)に出場している大垣日大は、大会6日目(28日)の第1試合で東北(宮城)と対戦する。初戦を翌日に控えた27日、